

今年で御年90歳!

ほっこり列車

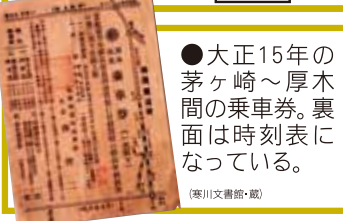
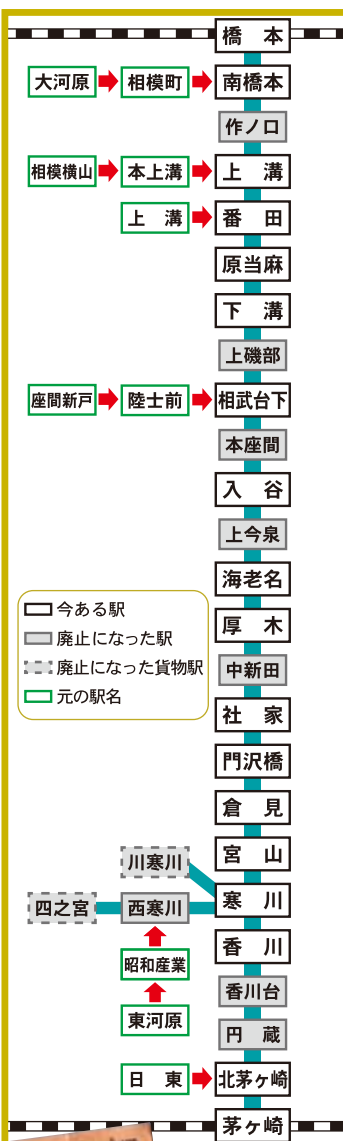
旧相模鉄道

相模線

通称“ジャリ鉄”メモリアル散歩

単線、手動開閉、のどかな車窓風景がローカル感たっぷりのJR相模線(全長33km)が、今年9月28日、開業90周年を迎えました。元々は相模川の砂利運搬を目的として作られた路線でしたが、現在は茅ヶ崎～橋本間を18駅で結び、沿線住民にとって欠かせない足となっています。

今秋は相模線がアツイ! ということで、開催される記念イベントとともにその歴史を巡りたいと思います。



●四之宮支線…大正11(1922)年5月、寒川駅からのもう一つの貨物支線「四之宮支線」が開通。寒川駅を出発すると「東河原駅」「四之宮駅」の順に停車し、砂利運搬の拠点として活躍した。昭和15(1940)年、昭和産業や相模海軍工廠(こうしょう)への通勤客を運ぶために旅客営業を開始すると、「東河原駅」は「昭和産業駅」に改称された。しかし、第2次大戦中の燃料不足によりすぐに旅客営業を休止。国有化の後、「四之宮支線」は「西寒川支線」、「昭和産業駅」は「西寒川駅」に改称。昭和35(1960)年、沿線への工場進出を契機に旅客営業を再開し、昭和59(1984)年まで活躍した。その廃線跡は現在、一之宮緑道として親しまれている。

相模線プロフィール

相模線の前身となる相模鉄道株式会社は、当時の茅ヶ崎町長伊藤里之助らにより、①相模川流域エリアを東海道線・中央線と結びつけることと、②相模川の砂利運搬を目的に、大正6(1917)年12月に創立された。京浜地域の都市化・工業化と共に土木・建築用の砂利需要が急増していた時代で、相模川下流域での砂利採集事業に着目したという。

大正10(1921)年9月28日に茅ヶ崎～寒川間(全長5.1km)が開通。同時に、貨物専用の寒川～川寒川支線、翌年には寒川～四之宮間の貨物線が開通した。路線は、大正15(1926)年4月には倉見まで、同7月には厚木まで、そして昭和6(1931)年4月までに茅ヶ崎～橋本間の全線が開通した。

その後、相模鉄道は昭和18(1943)年に神中鉄道(横浜～厚木間)を吸収合併。両社はすでに東京横浜電鉄(現東急)の傘下に入っていたため、これを機に2つの路線は「相模鉄道相模線」「相模鉄道神中線」と呼ばれるようになり、相模線の部分が翌年、軍事輸送路確保のために国有化された。国有化されなかった神中線が、相模鉄道の名称を引き継ぐことになったという。

年月を経て、昭和62(1987)年3月、厚木～入谷間に海老名駅が開業。翌4月に国鉄が民営化され、JR東日本になった。念願の電化にこぎつけたのは平成3(1991)年。平成11(1999)年、米軍の燃料輸送廃止に伴って貨物営業を終了、現在に至っている。

●現在の倉見駅舎は開設当時のもので、現存する相模線の駅舎では最古。大正15(1926)年に開設された際、関東大震災の教訓を受けて耐震性を考慮したコンクリート造りで建てられた。相模鉄道は昭和4(1929)年からこの付近での砂利採取を開始し、倉見駅でトロッコから貨車に積み替えて出荷していた。



(提供・菊池克弘さん)

●昭和6(1931)年、寒川神社の職員と参詣者の便宜をはかるため、地元住民と寒川神社が設置に尽力。普段はゆったり座れる車内も、毎年、大晦日から元旦にかけての1日だけ、すし詰め状態に。その日はホームから直接出られる臨時の改札が登場する。



▲宮山駅ホーム (昭和40年/提供・高澤一昭さん)

●川寒川支線…相模鉄道開業と同時に敷設された貨物線の終着駅。現在の水道記念館裏手、川とのふれあい公園(右写真)付近。相模川の砂利輸送に大きな役割を果たしたが、昭和6(1931)年に廃止された。



▲西寒川駅 (提供・高澤一昭さん)



●明治31(1898)年に茅ヶ崎駅が開業すると、当地は別荘地や海水浴場として人気が上昇。翌年には大規模な結核療養所「南湖院」も開院し、発展の途をたどっていった。



(茅ヶ崎市文化資料館・蔵)

●開設当時は相模川の砂利輸送の拠点として機能。昭和60(1985)年に現在の橋上駅舎が完成した。



(寒川文書館・蔵)

●相模鉄道開業の際は予定になかった「香川駅」。強硬な交渉の末に設置が実現した。香川駅までの間にかつて「円蔵」(昭和7年～15年)→「香川台」(昭和16年～18年)という駅があった。



(提供・橋沢隆俊さん)



(茅ヶ崎市文化生涯学習課・蔵)
▲日東製作所茅ヶ崎工場「明神の茅ヶ崎」第16号 (昭和14年10月15日発行)より

●昭和14(1939)年、沿線に進出した日東製作所(鉄工品加工)の請願により、当初は「日東」駅という名称で開設。軍需産業だったため、終戦後は次第にその役目を終えていった。「北茅ヶ崎駅」に改称した時期は、昭和15(1940)年という記述(サトウマコト著「相模線物語」と、昭和19(1944)年に相模鉄道が国に買収された際という説がある。

関連イベント

開催中 相模線きのう・きょう・あした
～2012/2/29(水)
●9時～19時(土曜・日曜・祝日～17時)、「寒川文書館(ぶんしゅかん)」展示コーナー(JR相模線寒川駅下車徒歩8分、毎月1祝日は開催)●大正6(1917)年の発足から平成23(2011)年の東日本大震災の影響に至るまで、相模線の歴史を紹介●TEL0467-75-3691、寒川文書館。

開催中 相模線沿線スタンプラリー
～11/30(水)
●自由参加●相模線内(橋本駅・入谷・座間市公民館・海老名駅・寒川・寒川文書館・茅ヶ崎駅)にスタンプを設置。すべて押印した方には抽選で記念品プレゼント●参加方法=県内の主要駅や沿線市町公共施設で専用シートを入手●応募締切=12月5日(月)●TEL0467-82-1111、メールtoshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp茅ヶ崎市都市政策課。

10/15(土) 相模線沿線ハイキング
～海老名コース～
●受付9時半～10時半、「JR相模線社家駅」集合●参加無料●定員600人●要●雨天中止●社家駅～相模大堰(おおぜき)～海老名運動公園～今福薬匠門公園～有鹿神社～海老名中央公園(約11km※短距離コースもあり)●TEL0467-82-1111、メールtoshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp茅ヶ崎市都市政策課。